

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 月 日

評価対象事業		評価者	こども支援課担当課長 正木 照雄		
こども-02	実施事業	子育て支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども支援課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	こども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対するため。
効果	子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭に情報提供するために保育コンシェルジュを配置した。 子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。 「かまくら冒険遊び場・梶原」を協働事業者と運営するとともに、子育て支援団体等の情報発信及び情報提供を行った。 保育の必要性の認定を受けた児童が特定子ども・子育て支援施設等の認定を受けた施設を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	4,582	7,360	当初予算(千円)	13,267
	国県支出金	2,192	2,404	国県支出金	5,630
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	2,390	4,956	一般財源	7,637
事業経費運営	人員配置数	2.2	人員配置数	1.1	
	人件費(千円)	16,887	17,708	人件費(千円)	9,411
	総事業費(千円)	21,469	25,068	総事業費(千円)	22,678
	市民1人当りの経費(円)	122	142	市民1人当りの経費(円)	128
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人かまくら冒険遊び場やまもりかまくら子育て支援グループ懇談会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		常設化した「冒険遊び場」を継続して実施する。かまくら子育てメディアスポットにて、保育園・幼稚園等の情報提供や、地域の子育てサークル・イベント情報など、子育て支援情報の提供を行う。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	子どもの居場所の確保、子育て支援の更なる充実等、多様化する市民ニーズに応えるとともに、常設化した「冒険遊び場」を継続して実施する。また、保育コンシェルジュ及びかまくら子育てメディアスポットの更なる活用を図る。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン」の推進主要施策の一つである「多様な体験機会の確保」について、「冒険遊び場」の常設化を令和元年度内に実施する。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	令和元年11月から「冒険遊び場」を開設した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	プレイパーク事業(冒険遊び場)実施状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横浜市	川崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	×	×	○	○

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	「冒険遊び場」の常設化は実施できたものの、他自治体におけるプレイパーク事業実施状況にはバラつきがあり、手法も市町村により様々であるため、今後も他自治体の実施状況を参考とし、本市の自然環等を活かした手法を検討していく必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	「冒険遊び場」の開催日数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
「冒険遊び場」常設化に向けて、具体的な事業実施の手法の検証となるため。	目標値	12.0	12.0	24.0	24.0	24.0	130.0				
	実績値	11.0	12.0	22.0	22.0	22.0	54.0				
	達成率	91.7%	100.0%	91.7%	91.7%	91.7%	41.5%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	「冒険遊び場」常設化に向けて、雨天による中止等はあるものの、順調に開催回数を増やしてきた。令和元年度には、「冒険遊び場」の常設化を目標として目標値を設定したが、開始時期が11月からになってしまったこと、また、コロナウイルスによって開催できない日が生じてきてしまったことにより、目標を達成できなかった。
-----------------------	--